

PASPY廃止に伴う呉市優待制度継続のための対応について

広島電鉄株式会社（以下「広電」といいます。）から、令和7年3月末までにPASPY（交通系ICカード）の運用を廃止して、スマートフォンに表示させたQRコード又は新しい専用ICカード（以下「専用ICカード」といいます。）を認証媒体とする乗車券システム（以下「新乗車券システム」といいます。）の運用を開始するとの発表がありました。

これに伴い、PASPYのシステムを利用する「呉市いきいきパス」（以下「いきいきパス」といいます。）が使用できなくなるため、呉市優待制度（以下「優待制度」といいます。）を利用する高齢者及び心身障害者（以下「高齢者等」といいます。）が、新乗車券システムへ円滑に対応し、引き続き優待運賃でバスの利用ができるよう、課題等の整理・検討を行いました。

1 優待制度の概要

【目的】	高齢者等の社会参加の促進とバスによる移動の支援を行い、もって福祉の増進に寄与する。
【概要】	利用者負担（敬老：1乗車100円，障害者：無料）※実施運賃との差額を市が負担
【経緯】	・昭和48年 優待制度開始（敬老は70歳以上無料，下半期から68歳以上に拡大。障害者は無料） ・平成5年 敬老の対象年齢を70歳以上に引上げ ・平成16年 敬老の利用者一部負担導入（1乗車100円負担） ・平成24年 広電への民間移譲に伴い、紙の優待証からPASPYによる「いきいきパス」に変更
【交付者数】	敬老：46,547人，障害者：2,590人（令和4年度末現在）

2 優待制度の現況と意義

(1) 「いきいきパス」交付者数、実利用人数及び市負担金の推移

ア 敬老

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
交付者数(人)	42,971	43,751	45,259	46,331	47,455	47,588	47,114	46,547
実利用人数(人)	28,509	28,203	28,892	29,224	29,659	25,051	24,034	25,119
市負担金(千円)	353,974	342,742	337,822	329,189	342,005	250,823	249,607	263,908

イ 障害者

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
交付者数(人)	3,023	2,974	2,923	2,875	2,801	2,753	2,670	2,590
実利用人数(人)	2,248	2,202	2,136	2,114	2,029	1,802	1,730	1,641
市負担金(千円)	65,619	63,869	63,042	59,215	61,047	48,270	45,484	45,241

(2) 優待制度の意義

ア 福祉の増進

優待制度は、昭和48年の制度開始から長く運用されており、高齢者等の外出支援（通院、買物等）や介護予防（社会参加）に資する制度として広く市民に定着しています。

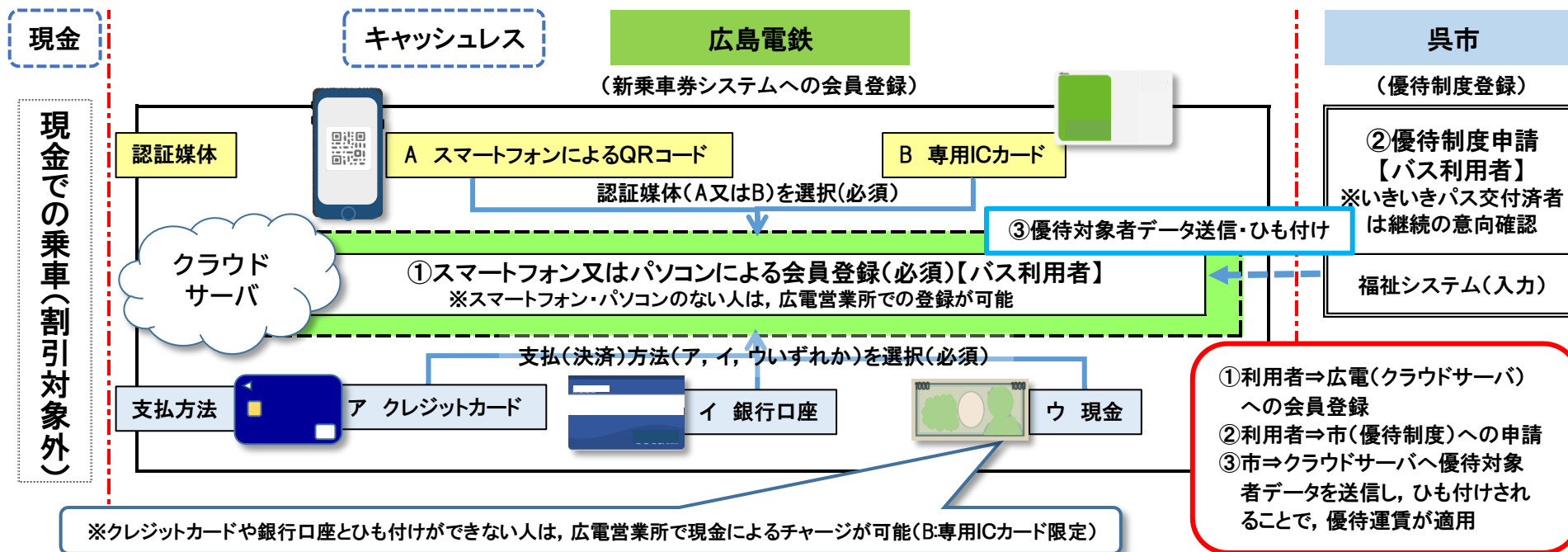
イ 計画上の位置付け

第5次呉市長期総合計画や高齢者・障害者に関する福祉計画においても、外出支援の重要な取組の一つとして位置付けられており、福祉の推進に資する制度として、安定的で持続可能な制度とする必要があります。

3 新乗車券システムの概要

- ・原則として、事前に利用者自身のスマートフォンやパソコンから会員登録をした上で、クレジットカード又は広島銀行の預金口座（以下「銀行口座」といいます。）の登録による連携が必要となります。これにより、クラウド上で運賃の支払ができます。また、スマートフォンやパソコンからの会員登録又はクレジットカード等の登録ができない人は、広電営業所（宝町・呉中央・警固屋・広・焼山）での会員登録及び現金によるチャージが可能です。
- ・認証媒体となるスマートフォンによるQRコードや専用ICカードの固有ID番号とひも付いた利用者情報をクラウドサーバで管理します。車載機側ではID番号の読み取りのみを行い、運賃計算は無線通信により、クラウドサーバ側で行います。

○新乗車券システムへの会員登録から優待制度登録まで(イメージ図)



4 いきいきパス（現行）と新乗車券システム（移行後）の優待制度比較

	いきいきパス（現行）	新乗車券システム（移行後）
仕組み	車載機側でICカードのID番号、チャージ残高などを読み取って運賃計算を行い、更新情報をICカードに書き込み保存	認証媒体となるQRコードや専用ICカードの固有のID番号とひも付いた利用者の情報（運賃計算・更新情報）をクラウドサーバ側で保存・管理
認証媒体	ICカード（PASPYを利用したいきいきパス）	スマートフォン（QRコード）又は専用ICカードのいずれかを選択
申請から利用までの流れ ※新規の場合	(1) 呉市窓口でいきいきパス交付申請 (2) 呉市から、ICカード発行会社へ申請データ送信 (3) ICカード発行会社から簡易書留で郵送又は呉市の窓口で交付 ※申請から2～3週間後、カードが届き次第、利用可能 ※カード代金は呉市負担	1 新乗車券システムの会員登録等 (1) スマートフォンやパソコンから会員登録（氏名、住所、生年月日等） (2) A（スマートフォンのQRコード）又はB（専用ICカード）のいずれかの認証媒体を選択（必須） ※Bを選択した場合、カード代金（200円程度）は利用者負担 (3) クレジットカード又は銀行口座を登録（必須） (4) パスワード設定登録、ユーザID（管理番号）の付与 2 優待制度の利用申請等 (1) 利用者は会員登録後、呉市窓口で優待制度利用申請 (2) 呉市から広電（クラウドサーバ）へデータ送信 (3) 会員登録情報と優待情報がひも付けされることで、優待制度対象者として利用可能 ※手続のフロー、受渡し方法等の詳細は検討中
チャージ（入金）	ICカード（いきいきパス）へ現金によるチャージ （チャージ場所：バス車載機、銀行のATM、広電営業所）	登録したクレジットカード又は銀行口座との連携により、クラウドサーバ上へオートチャージ（自動入金） 現金の場合、広電営業所（呉市内5か所）でのみチャージ可能 ※現金チャージはB（専用ICカード）のみ ※バス車載機でのチャージは不可
支払方法	ICカード（いきいきパス）をバス車載機で読み取り、優待運賃を支払う。	バス車載機で認証媒体の固有ID番号を読み取り、クラウドサーバへ無線通信し、優待運賃を支払う。
割引	【PASPY割引】乗車ごとに運賃に対して最大10%が割引 【優待割引】敬老：1乗車100円、障害：無料	PASPY割引と同様の割引が適用される予定 ※変更なし
市からバス事業者への支払	実施運賃と優待運賃の差額分は、別途、市から広電等バス事業者へ負担金として支払う。	※変更なし

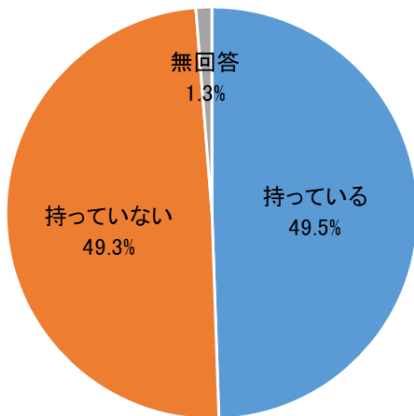
5 高齢者等のICT（情報通信技術）の利用実態

(1) 敬老優待証利用者の状況把握調査（令和4年6月実施）

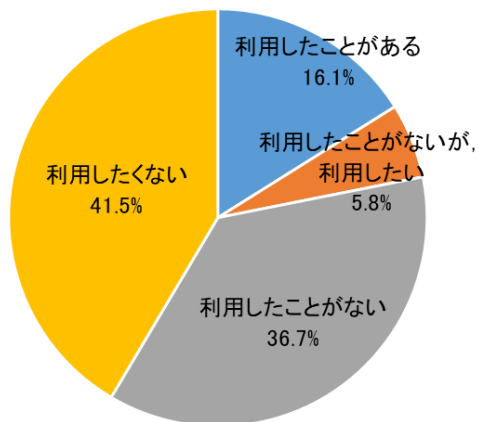
ア 対象者：令和4年4月の敬老優待証実利用者15,218人のうち760人

イ 回答数：552人（回答率72.6パーセント）

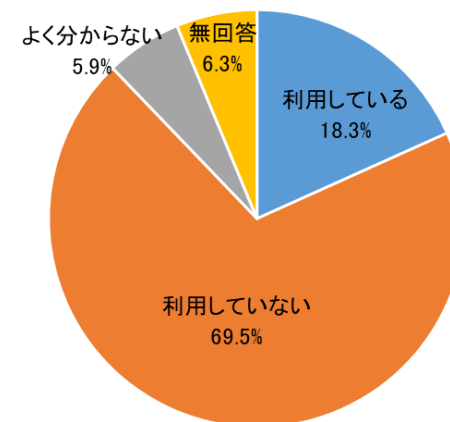
スマートフォン所持率



スマートフォンによる支払



インターネットの利用

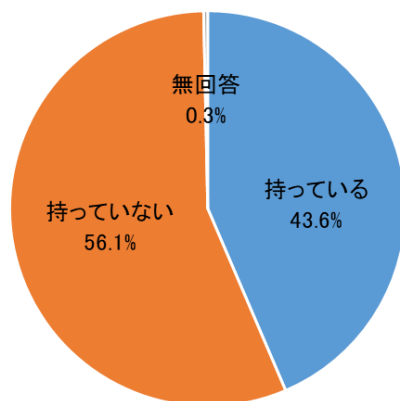


(2) 障害者優待証利用者の状況把握調査（令和4年7月実施）

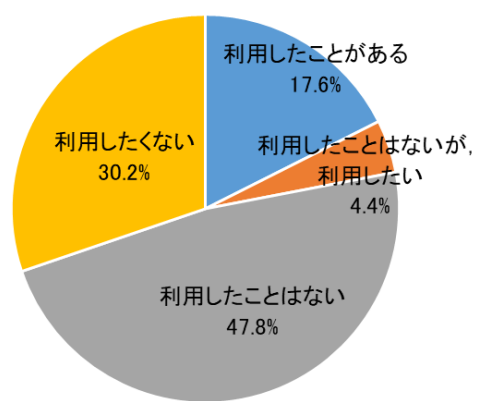
ア 対象者：令和4年4月の障害者優待証実利用者1,134人のうち400人

イ 回答数：303人（回答率75.8パーセント）

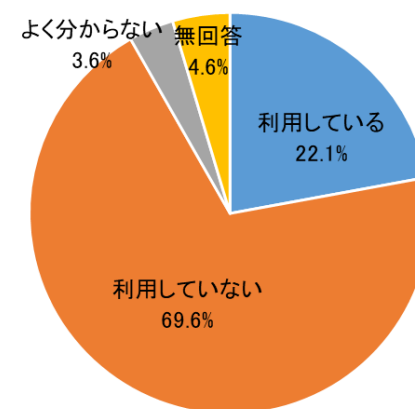
スマートフォン所持率



スマートフォンによる支払



インターネットの利用



(3) 高齢者等のデジタルデバインド（情報格差）

敬老優待証及び障害者優待証利用者の状況把握調査結果によると、高齢者等の約半数がスマートフォンを所持しているものの、約8割がスマートフォンによる支払を「利用したことがない」又は「利用したくない」と回答しており、インターネットの利用については「利用している」が約2割と低く、スマートフォンやインターネットの活用ができておらず、ICTの恩恵を受けられていないのが現状です。

新乗車券システムでは、スマートフォンによるQRコード又は専用ICカードのどちらかを選択し、事前にスマートフォンやパソコンを使っての会員登録、運賃支払のためのクレジットカード又は銀行口座の登録等が必須であることから、新乗車券システムに円滑に移行できない高齢者等が出てくることを見込まれます。

6 優待制度の見直し検討

以前からの「一律100円負担であり、公平な受益者負担とは言えない」、「地域間格差がある」といった意見を踏まえ、優待制度の見直しについて検討しました。

新乗車券システムで運賃割引を受けるための手続は、高齢者等のICTの利用実態を考慮すると、大きな負担を強いることとなります。その状況の中、同じタイミングで優待運賃の見直しを行うことは、高齢者等に更なる負担を求めることとなり、利用者やその家族からの理解が得られにくく、バスの利用離れ（外出抑制）につながることも懸念されるため、今回は優待運賃の見直しは行わないこととし、新乗車券システムに円滑に移行できるよう、そのために必要な対応に取り組むこととします。

7 優待制度継続のための対応（案）

(1) 市民への周知

優待制度対象者のみならず、全てのバス利用者に対する新乗車券システムの登録手続などの分かりやすい説明や広報を広電に求めるとともに、市としても優待制度の手続等について周知を図っていきます。

(2) 優待制度継続希望者への会員登録サポート

優待制度適用の前提となる新乗車券システムを利用するための手続は、広電において行う必要があります。しかし、いきいきパス交付者数は約49,000人と人数も多く、そのうち自らスマートフォンやパソコンで会員登録をすることができない人が相当数いることが想定されるため、デジタルデバインドの解消に向けて「高齢者等スマートフォン教室」を開催し、自ら手続ができるようにサポートするとともに、広電と協力しながら、呉市役所の本庁舎及び各市民センターに専用窓口を設置し、利用者の会員登録やチャージ等をサポートする体制を整えることを検討しています。

(3) 優待制度継続のためのシステム等の改修

新乗車券システムの導入に伴う優待制度継続のためのシステム等の改修については、広電の責任と費用において実施しますが、別途、呉市は福祉システムの改修等を行うことで、新乗車券システムを使用する予定となっています。

8 今後のスケジュール（予定）

	10月	11月	12月	R6.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7.1月	2月	3月	4月	5月
広電 新乗車券システム への移行	★報道発表 ・新乗車券システム詳細 新乗車券システム開発・試験等												一般会員登録開始 ※窓口サポート・コールセンター検討中							
													新乗車券システム全線稼働							
呉市 PASPY終了に伴う 優待制度継続のための対応													優待対応試験等※令和7年2月稼働予定							
													高齢者等スマートフォン教室開催※デジタルデバインド解消							
	R6予算要求 ※必要なイニシャル・ランニングコスト												※優待制度対象者への案内 窓口サポート時期等は検討中							
													★PASPY終了							
												★いきいきバス 運用廃止								
												優待対象者データ登録								
												新乗車券システム 優待運用開始								